

大宮市文化賞受賞者

NO	氏名	フリガナ	功績内容	受賞年度
1	加藤 三郎	カトウ サブロウ	日本盆栽協会理事長として永年にわたり盆栽育成に尽力。	平成2年度
2	塗師 祥一郎	ヌシ ショウイチロウ	画家。教育行政に貢献。	平成2年度
3	宮澤 章二	ミヤザワ ショウジ	詩人。教育行政に貢献。	平成2年度
4	神田正子(アキコ・カンダ)	カンダ マサコ	日本人として初のマーサ・グラハム舞踏団員。昭和49年に芸術祭大賞受賞	平成3年度
5	石井 冨次	イシイ トミジ	大宮薪能の実現に尽力。金春会会長として謡曲の普及に尽力。	平成3年度
6	矢部 清江(矢部 清華)	ヤベ キヨエ	大宮市華道連盟代表。	平成3年度
7	白井 とも子(小海智子)	シライ トモコ	シャンソン歌手。	平成4年度
8	中村 稔	ナカムラ ミノル	弁護士、詩人。鶴原抄で高村光太郎賞を受賞	平成4年度
9	井原 福太郎(源 輝日天)	イハラ フクタロウ	陸軍受命刀匠として活躍し陸軍大臣賞を受賞。50年に及ぶ作刀活動	平成5年度
10	菅野 民子(大西民子)	カンノ タミコ	歌人。短歌研究賞、ミューズ女流文学賞、埼玉文化賞を受賞。	平成5年度
11	川本 二郎(川本玉水)	カワモト ジロウ	薩摩琵琶の流れをくむ錦心流の最高位総伝。	平成7年度
12	鈴木 健一郎(鈴木朋山)	スズキ ホウサン	都山流尺八の響きの会の代表。邦楽の発展と普及に尽力。	平成7年度
13	安岡 道男(安岡路洋)	ヤスオカ ミチオ	考古学、民俗学、建築学に造詣が深く市文化財専門委員長として尽力	平成7年度
14	山本 博	ヤマモト ヒロシ	アーチェリー選手としてロス五輪銅メダリスト。その後、五輪3大会にも出場	平成8年度
15	埼玉栄高校女子陸上部	サイタマサカエコウコウジョシリクジョウブ	女子全国高校駅伝競技大会で史上初の3連覇を達成。	平成9年度
16	秋山 紀夫	アキヤマ ノリオ	大宮市民吹奏楽団設立者。	平成10年度
17	神田 孝子(神田都美井)	カンダ タカコ	大宮箏曲会を設立。箏曲、尺八、三味線を糾合した三曲協会設立に尽力	平成10年度
18	柳田 敏司	ヤナギタ トシジ	考古学、歴史学の研究者。文化財保護の先駆者。	平成10年度
19	遠藤 円蔵	エンドウ エンゾウ	大宮市郷土芸能保存会会長。郷土芸能伝承活動に尽力。	平成11年度
20	勝 正弘	カツ マサヒロ	現代漆工芸作家。	平成11年度
21	日進餅搗き踊り郷土芸能保存会	ニッシンモチツキオトリキョウトゲイノウホゾンカイ	郷土芸能団体	平成11年度
22	秋山 静子	アキヤマ シズコ	画家。変わりゆく大宮の風景画を描きつづけ、国内外に大宮をPR。	平成12年度
23	小関 しおり	コセキ シオリ	女子ソフトボール日本代表としてシドニー五輪銀メダル獲得に貢献	平成12年度
24	邑田 佐賀男(邑田五郎)	ムラタ サカオ	彫刻家。二紀会常任理事。	平成12年度
25	深作ささら獅子舞保存会	フカサクササラシマイホゾンカイ	郷土芸能団体	平成12年度
26	秋葉ささら獅子舞保存会	アキハササラシマイホゾンカイ	郷土芸能団体	平成12年度
27	蓮見 弘	ハスミ ヒロシ	柔道を通じて青少年健全育成に尽力。	平成12年度